

# 前期基本計画(2021-2025)

## 重点テーマ：～10年先の高梁を見据えて～

### ① 未来を拓く人づくりの推進

- 就学前と義務教育、高校・大学との連携をより密にすることにより、教育効果の向上を図るとともに、地域の特色を生かしたふるさと学習を地域と一体となって進め、人間力と郷土愛を育む教育の充実に取り組みます。
- 吉備国際大学や図書館、公民館等を核として、誰もが楽しみ、触れ合える学習機会の充実を進めるとともに、女性や若者、高齢者、障がい者、外国人市民の方など、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに向けた取り組みを、関連する施策の連携により総合的に推進します。

### ② 健康まちづくりの推進

- 市民が将来にわたって、安心して健やかに暮らすことができる地域をつくるため、高梁市医療計画に基づく持続可能な地域医療体制の構築等、医療、介護、介護予防、生活支援、住まい、健康、交通といった生活の基盤となるサービスが、地域で一体的かつ有効に機能する仕組みづくりを目指します。
- 市民一人ひとりが自分の健康は自分で守るという意識を高め、生涯を通じた心身の健康づくりを強力に推進することによって、健康寿命の延伸を図ります。

### ③ 地産地消の推進

- 良質な農林水産物等の地域資源を生かし、家庭や地元飲食店、学校給食等での地産地消を進めることで、生産基盤である農地の保全等につなげます。
- 地産地消と併せて食文化を見直し、食育を推進することで、市民の健康づくりと家族や地域の絆を強めることにつなげていきます。
- 地域資源を活用した6次産業化など、新たな価値を創造する産業や地域内でサービスを提供する供給者の育成に努め、市内での観光消費拡大と地域経済循環を促進します。

## 前期基本計画の推進にあたって

### ① PDCAサイクルの確立

都市像および長期人口ビジョンの達成状況を測るための基本目標指標、各施策の効果を客観的に検証できる重要業績評価指標を定め、その達成状況によって手段(事業)を見直せるよう進捗管理を行います。

### ② SDGsの推進

各施策において、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標(ゴール)を意識して取り組むこととし、「誰ひとり取り残さない」持続可能な地域社会の実現に向けて、一体的な推進を図ります。

### ③ 山田方谷の教えを根底においたまちづくり

山田方谷は、幕末の備中松山藩で見事に藩政改革を成し遂げた偉大な財務家・教育者です。「至誠惻怛」の精神や透徹した時代認識は、現代においても通じる場所があります。多くの教えの中でも「理財論」で記されている次の教えを根底におき、まちづくりを進めていきます。

「義を明らかにして利を計らず」

人として歩むべき正しい道(義)を選んで進むことが大切で、自分自身の利益(利)のみを求めべきではない。

「事の外に立ちて事の内に屈せず」

ものごとは、全体の見通しをつけて取り組み、目先の細かいことばかりにとらわれてはいけません。